



大作 晃一さん&美月ちゃん&晃平くん

●とにかくタフ！時間があれば野を駆け山を歩き、仕事はだいじょうぶ？家庭は？と心配してしまいます。でもそこはうまくやっています。秘訣はあふれんばかりの愛情なのでしょう。今後さらにきのこ写真家、研究者として活躍の場が広がっていくかと思えます。大作さん、いつも写真を撮る前の大事なきのこに触ってしまっ
てごめんさい。(編)

千葉県って10年になるんですね。あのころはきのこが全然わからなかったけれど、今もわからない。ということは、あのころから10年たってもあまり状況がかわらないのだろうか。もっと、まじめにやらなければ。きのこがあったから写真をはじめたのか、写真が好きだからきのこをはじめたのか、もう忘れてしまったけれど。きのこの写真ははずうと撮っています。デジカメがはやりだして、最近になって使いだしているのだけれど、デジカメっておもしろいよね。

きのこを探しに行っても、写真ばかり撮っているの、きのこをあんまり食べていないことに気がきました。これではいけない。そう思って、きのこのパスタを作ることになりました。もう、いろんなきのこのパスタを作ったな。今度はどんなソースを作ろうか。そんなことを考えると、そろそろマンネリしてきたきのことりも楽しくなるね。



●ほんわかムードのナイスカップル！！尚子さんが楽しそうにキノコの話をしていると、隣で実さんはうれしそうに微笑んでおられます。千葉県への入会時はまるでカミングアウトしたような気分だったそうですが、ご遠慮なく、どんどんキノコの道にはまっていってくださいね。(編)



藤森 実&尚子さん &チビチャ:

千葉県類談話会に夫婦で入会したのは、約2年前です。たまたま千葉県立中央博物館を訪問した際、以前長野県のペンションでお会いした吹春先生に偶然出会ったことが、きっかけでした。

最初にキノコに興味を持ったのは東京育ちの妻の方。幼少時代、ちょっとした里山の近所に住んでいたため、外遊びの中で自然とキノコ達に出会っていたようです。ただ興味津々なものの、大人になるにつれて何故かキノコが好きと口に出せなくなり、代わりに、「山が好きです…」と偽っていました。

一方、私は長野県育ちですが、最近までまったく興味がありませんでした。しかし、婚約後に初めて、

妻が大のキノコ好きと知り、その後妻が応募した都主催のキノコ講座に参加させられ、そこで菌類の楽しさと不思議さを知るようになりました。

お互い、それほど勉強はしないし、沢山キノコを探る訳でもなく、今はむしろキノコグッズを集める方に熱心なくらいです。(駆け出しで、大したものはありませんが) まだまだ未熟ですが、これからも好きという気持ちを大切に、マイペースでキノコに取り組んで行きたいです。

ちなみに1年前にクサガメ(名前は「チビチャン」)を飼い始めたことから、今は「カメグッズ」も少ずつ集めています。